

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

290号

★ 2026年7月4日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 関連する映画のお知らせ

毎日新聞の大場記者が追いつけてきた麻布米軍ヘリ基地問題のドキュメント映画がこの秋、公開されるそうです。

<https://mainichi.jp/sp/tj300m/#about>

○ 一急募一 しゃれ街協議会より

「しゃれ街協議会」が存続の危機に瀕していません。

立ち上げのメンバーの高齢化を受け、協議に参加して頂ける人を募集致します。

東京都の認可のもと、常盤台の緑を守り豊かな街の持続を目指す趣旨で、新築建物の確認申請前に事前協議をして街へ貢献する事に同意して頂く為の活動です。土地の細分化や街の景観への無理解を無くす為にも是非、協力できる人の参加をお願い致します。

連絡先は、03-3558-2849 野崎まで

○ 常盤台しゃれ街協議会の継続を

2005年から活動している東京都のしゃれた街並み推進条例に基づく「常盤台しゃれ街協議会」は、住民主体に作られた建築についての珍しい協議会で、常盤台1・2丁目内に計画されるすべての建築行為について、業者・地権者と協議を行い、合意を受けることになっています。このガイドラインに基づいての協議のお陰で、板橋区の中でも憧れの住宅地として低層の良好な住宅街が守られてきたのは確かです。

この数十年の間、400件ほどの案件を全くのボランティア活動で運営してきた努力に感謝したいと思います。

○ 中央図書館跡地についての跡地活用の現場説明会

6月5日(金)と6月6日(土)、旧中央図書館正門前でオープンハウス型の説明会がありました。

・オープン型説明会の是非

以前に書いたように、この形では一見懇切丁寧な説明を受けられますが、違う観点からの疑義や問題提起が共有できず、発展していかないと言う欠点があります。うまくまとめた側としては都合がよいように思えます。

・住民の意見尊重は

そもそも企画政策課の方で3つの方針を出し、それに基づいて進めてきたと言うのですが、その段階で区民・住民の希望や意見を組み入れると言う姿勢が欠如しているのです。土木課その他に実行が移されてしまえばいくらアンケートを取ったり説明会を開いてもやりましたというアリバイ作りに過ぎません。まず住民の意見を聞いてから、と考えるべきだと思います。

・今後の運動

幸い跡地を考える会が活動しはじめたので、跡地の会のひとたちと歩調を合わせて、旧図書館跡地が常盤台のまちづくりが良好に進展していくよう、努力したいと思います。

・要請書の提出

土木課との話合いの中で、音楽などの関係団体でどれくらいの人達の利用希望があるのだろうか、という疑問が区側から出ました。その時は明確な数を把握していませんでしたが、あそこに多目的室があれば利用したいと望んでいるグループ・個人からの要請があれば区も考えるかも知れないと要請書をまとめて提出しようということになりました。ご協力をよろしくお願い致します。

郷土資料館からの依頼

下赤塚にある板橋区郷土資料館では、九月十一日ごろ、常盤台について特に常盤台写真場についての展示を企画しているそうです。

古い写真を探しているそうで、景観を守る会からは定点写真展で紹介している金井一郎さん撮影の街の写真を提供する予定です。会に協力を求めて来られた学芸員さんの話の中から、協力できそうな部分を紹介しします。

・富士見通り（SB通りとも言う）に面した三丁目の「渡辺酒店」について何か情報を持たれていたら知らせて下さい。

・戦争中の体験をお聞きしたいので、申し出で下さるか、お話しできる方をご紹介下さい。

・昔の古い写真を探しています。人物でも景色でも構いません。

・昔の助産婦さんについて情報を探しています。「お産婆さん」と喚ばれていた方達のことや全く資料として残っていないのでその活動を調べています。

板橋区立郷土資料館の連絡先です

TEL 03-5998-0081

地球温暖化の未来

あなたの家は砂漠の上ですか

地球温暖化の流れはますます強まり、春・秋の快適な気候は短くなり、酷暑の夏にあえぐようになりそうです。

この傾向は当分強まりこそすれ、衰えることは無さそうです。

私たちの住まいは地震国日本ですし、湿気を嫌うので（木造の家は特に）土台を殆どの家はコンクリートで固めています。植木屋さんの手間や雑草の苦勞が負担に感じるせいも、ますます地面は土の部分越来越少なくなっています。

そうするとどうなるか、地中の水分はどんどん減少し、長年の間にまるで砂漠の上に家が建っているような状態になるでしょう。

ある程度水分を含んだ土壌の上に建っている家と、砂漠の上に建っている家とは、地震や通過する車による揺れに大きな差ができるのではないのでしょうか。

地震の問題より大きいのは、水分が持つ冷却力による差です。砂漠の環境ではもちろんじりじりと照りつける暑さは逃れようもありません。保水力のある土ならば、何度かは温度が低くなるはずですが。

常盤台ガイドラインでは接道面に緑をと謳っています。駐車場もコンクリートで全面を覆うのではなく、切れ込みを入れて芝やリュウノヒゲを植え、地中に雨水がしみ込む工夫もできるのです。できるだけ樹木や草花を植えて、あなたの家の下が砂漠にならないよう、砂漠の気温にならないよう工夫しませんか。

常盤台公園のはなづくり

去年は六月から異常な暑さでした。原因のひとつには梅雨らしい時期がなく、カラカラの天気が続いていたのです。今年は従来の梅雨が戻り、アジサイを始めとして草木が生き活きとしています。酷暑の夏は確実のようですが。

常盤台を散歩すると至るところで様々なアジサイの花を見ることが出来ます。ガクアジサイ・柏葉アジサイ・墨田のハナビ・アナベラなど、ある時期人気だった花にも出会えます。

アガパンサスも薄紫色や白色に丈高く咲いています。とても丈夫で去年の殺人的太陽光線に葉先が枯れたのがありましたが、今はすっかり回復しています。

ヤブカラシは一度引き抜いても、次から次へと芽を伸ばしてきます。終りの無い戦いのようです。何年か前は節約して、松葉ボタンを葉挿しで増やして図書館の角の花壇を埋めたりしましたが、最近ではサボっています。水やりが出来ないと思うので今雑草だらけなのが気がかりです。

もちろん以前からずっと会員募集中です。一緒に公園をきれいにしませんか。

